

学習指導要領	都立府中工業高校 学力スタンダード
<p>(1) 私生活の時代と歴史</p> <p>現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付かせる。</p> <p>開国前後から第二次世界大戦終結までの政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、相互の関連を重視して考察させる。</p> <p>ア 近代国家の形成と国際関係の推移</p> <p>(ア) 近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出、文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や文化の変容、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察させる。</p> <p>(イ) 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に注目して、国際環境や政党政治の推移について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な社会的事象や、地域の事象、現代の課題などを追究し、近現代の歴史的事象と現在との結び付きに気付くことで、自らが歴史の当事者であることを知る。 ・開国に至る経緯と、幕府の対応について知る。 ・日米修好通商条約の締結によって、日本が欧米の貿易市場として開かれたことを知る。また、その内容が不平等な条約であったことを知る。 ・開国後の政治情勢の中で尊皇攘夷派と公武合体派の対立があったことを知る。 ・明治新政府が中央集権化を図るとともに、富国強兵、殖産興業政策の下で、廃藩置県、封建的身分制度の廃止、学制や徴兵令、地租改正などの諸改革を実施したことを知る。 ・明治政府の中央集権化・藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動がおこり、国民の政治的関心が高揚し憲法制定・国会開設に至る、一連の動きを知る。 ・欧米文化が導入され、人々の生活が変化していったことを知る。 ・初期の外交政策は、欧米に対しては不平等条約の改正、一方、アジア諸国に対しては強硬な態度で臨んだことを知る。 ・この時期に、日本の領土が国際的に確定したことも知る。 ・明治前半では、条約改正が最大の外交課題であり、この克服においては、国際情勢と国内情勢の推移が密接に関係し、進められたことを知る。 ・明治前半では、条約改正が最大の外交課題であり、この克服においては、国際情勢と国内情勢の推移が密接に関係し、進められたことを知る。 ・日清・日露戦争の経緯と結果を知る。

学習指導要領	都立府中工業高校 学カスタンダード
<p>イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢</p> <p>(ア) 産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及、大衆社会と大衆文化の形成に着目して、近代産業の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>(イ) 諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目して、二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日清・日露戦争を経て、アジアに対して日本が勢力の拡張をおこなったことを知る。 ・第一次護憲運動と原敬内閣の成立により、本格的な政党内閣が組織されたことを知る。 ・日清・日露戦争の過程で、日本に産業革命がおこり、資本主義が確立したことを知る。 ・資本主義の発展によって産業構造が変化し、これにともない、都市における貧民問題や労働問題など、さまざまな社会問題が発生したことを知る。 ・社会運動の広がりとともに、大正期には女性解放運動が展開したことを知る。 ・国家主義思想や大正デモクラシーの風潮に着目して、明治期と大正期の思想の違いについて知る。 ・加藤高明内閣のもとで普通選挙法が成立したことを知る。 ・第一次世界大戦に日本が参戦した意図、また第一次世界大戦を通しての日本の外交方針について知る。 ・第一次世界大戦後、国際的に民族運動が高まったことについて知る。 ・パリ講和会議とワシントン会議及び幣原外交について知る。 ・第一次世界大戦が日本に与えた経済的な影響について知る。 ・国内的な第一次世界大戦以後の慢性的な不況と、国際的な世界恐慌による資本主義諸国の経済危機について把握し、日本および各国が、このような状況をどのように克服していったのかを知る。 ・軍部の台頭の過程と、これにともなう政治的な状況の変化について知る。 ・日中戦争が長期化する中で、国内では大政翼賛会が発足して全体主義的な国家体制が構築されるなど、東亜新秩序の形式によって局面を打開しようとしたことを知る。 ・中国・アメリカを中心とした国際関係の変化にも着目しながら、太平洋戦争に至る過程を知る。 ・アジア・太平洋戦争の過程のなかで、国民生活はどのように変化したのかを知る。 ・日本がアジア諸国に対して与えた影響について知る。

学習指導要領		都立府中工業高校 学カスタンダード
<p>(3) 現代の日本と世界</p> <p>ア 現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p> <p>イ 経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>ウ 現代からの探究 現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その解決に向けた考えを表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身につけさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後の連合国による対日占領政策、民主化の諸改革の内容について知る。 ・日本国憲法について、その制定までの過程や内容の特徴を知る。 ・日本の経済復興の過程を知る。 ・戦後の深刻な国民生活の実態について知る。 ・国際的な冷戦のはじまりと、日本に対する占領政策の転換からサンフランシスコ平和条約の締結に至る経緯と背景について知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・主権回復後の日本の国内的な政治の推移と、新しい外交関係の確立の動きについて知る。 ・高度経済成長の実態と、その歴史的意義について知る。 ・石油危機にともなう日本国内の動きを、国際情勢の動向をふまえて知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・国際的な冷戦の終結後の世界情勢と、国内的な 55 年体制の崩壊について、知る。 ・現在の日本がかかえる諸課題について、国際社会での役割、国内的な問題という面から知る。 	